

ゾレドロン酸点滴静注4mg/100mLバッグ「KCC」

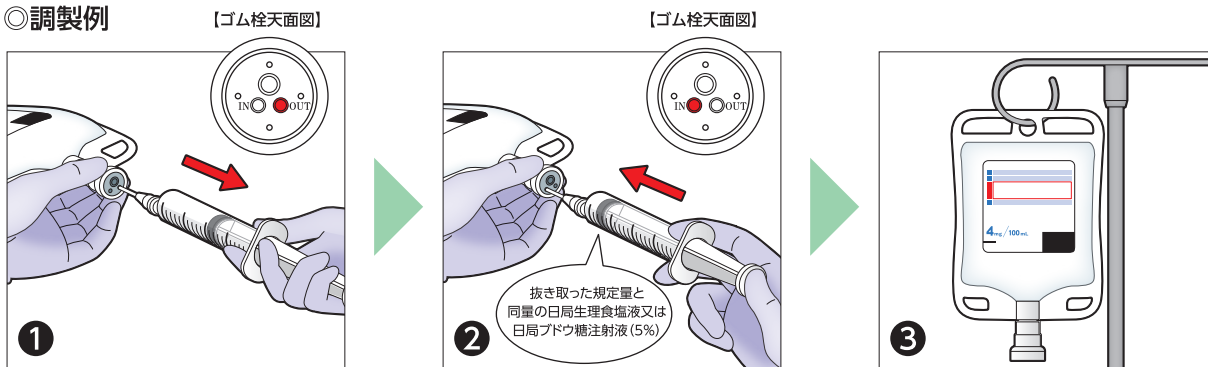
減量時の調製について

◎用法及び用量に関連する使用上の注意

1. 軽症(血清補正カルシウム値12mg/dL未満)の高カルシウム血症患者では、補液による治療が効果不十分で症状の改善がみられないなど本剤の投与が必要と判断される場合に投与すること。
2. 悪性腫瘍による高カルシウム血症患者に本剤を再投与する場合、初回投与と同様に4mgを点滴静脈内投与すること。[日本人で4mgを超えた用量の再投与及び3回以上の投与の使用経験がない。]
3. 腎機能障害患者では、血漿中濃度が増加するので、高カルシウム血症の治療に用いる場合を除き、腎機能の低下に応じて減量すること。減量にあたっては、下表に示した規定量を袋から抜き取り新たに同量の日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液(5%)を袋に加えて**全量を100mLに調製し投与すること**。

クレアチニンクリアランス (mL/分)	濃度調整のために抜き取る本剤の量 (mL)	濃度調整のために加える日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液(5%)の量 (mL)	調整後の本剤の濃度 (mg/100mL)
>60	調整不要	調整不要	4.0
50~60	12.0	12.0	3.5
40~49	18.0	18.0	3.3
30~39	25.0	25.0	3.0

◎調製例



規定量を抜き取る

注射針をゴム栓の針刺し部(OUT)にまっすぐ刺し、規定量を抜き取ります。

濃度を調整

注射針をゴム栓の針刺し部(IN)にまっすぐ刺し、抜き取った規定量と同量の日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液(5%)を袋に加えます。

点滴準備完了

点滴スタンドなどへ吊り下げます。

詳細は下記GS1バーコードより電子添文をご確認ください。



(01)04987073200604

学術情報フリーダイヤル0120-265-321(受付時間 8:45~17:45/土日祝日・弊社休日を除く)

ネオクリティケア製薬株式会社